

令和4年度 第5学年（国語）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 8・9 10 11 12 1 2 3	漢字の広場1 かんがえるのっておもしろい 続けてみよう 和語・漢語・外来語 古典の世界 なまえつけてよ 漢字の成り立ち 春の空 見立てる 言葉の意味が分かること 原因と結果 教えて、あなたのこと きいて、きいて、きいてみよう インタビューをするとき 日常を十七音で 図書館を使いこなそう 同じ読み方の漢字 夏の夜 みんなが過ごしやすい町へ 目的に応じて引用するとき 作家で広げるわたしたちの読書 カレーライス からたちの花 どちらを選びますか 新聞を読もう 敬語 たずねびと 漢字の広場2 漢字の読み方と使い方 秋の夕暮れ よりよい学校生活のために 意見が対立したときには 漢字の広場3 固有種が教えてくれること 統計資料の読み方 グラフや表を用いて書こう 古典芸能の世界ー語りて伝える カンジ博士の暗号読解 古典の世界(二) 漢字の広場4 やなせたかしーアンパンマンの勇気 あなたは、どう考える 冬の朝 生活の中で詩を楽しもう 方言の共通語 漢字の広場5 想像力のスイッチを入れよう 複合語 伝わる表現を選ぼう この本、おすすめします 提案しよう、言葉とわたしたち 日本語の表記 漢字の広場6 大造じいさんとガン	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
<授業の工夫> ○ノート指導を徹底し、児童の書く力や日常生活に必要な国語の基礎的な事項の定着を図ります。また、単元のめあてを明確にし、導入、展開、まとめの学習の流れを意識した指導をします。 ○テストの結果だけではなく、学習過程における児童のよい点や可能性、工夫したことや努力したこと、進歩の状況を評価し、意欲をもたせる工夫をします。		
<評価について> ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストやノート、少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、話し合い活動の様子などを基に評価します。		
<学習方法など> ○漢字の定着を図るため、漢字スキルや漢字学習ノートを使います。 ○進んで読書ができるよう、学校図書館の本や巣鴨図書館の図書ネット便を活用します。週1回、読書タイムの時間を設けます。		

令和4年度 第5学年（ 社会 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4・5	1.日本の国土と人々の暮らし (1)世界から見た日本(2)日本の地形や気候 (3)さまざまな土地の暮らし あたたかい沖縄県に住む人々の暮らし	【知識及び技能】 ○我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
6	低地に住む岐阜県海津市の人々	
7	2.わたしたちの食生活と食料生産 (1)食生活を支える食料の産地 (2)米作りのさかんな地域	
8	(3)水産業のさかんな地域	【思考力、判断力、表現力等】 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
9	(4)これからの食料生産	
10	3.工業生産とわたしたちの暮らし (1)くらしや産業を支える工業生産 (2)自動車工業のさかんな地域	
11	(3)日本の貿易とこれからの工業生産	【学びに向かう力、人間性等】 ○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。
12	4.情報社会に生きるわたしたち (1)情報をつくり、伝える (2)情報を生かして発展する産業	
1	5.国土の環境を守る (1)環境とわたしたちの暮らし (2)森林とわたしたちの暮らし (3)自然災害から人々を守る	

<授業の工夫>

○ICT、視聴覚教材、資料集などを有効に活用し、自らが考えを深め、課題解決をしていくことができるようにします。

○学習課題とそれに対するまとめを意識させ、学習内容の定着を図ります。

<評価について>

○我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業に関する知識を習得し、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。

○日常生活における社会的事象の特色や相互の関連に関心を持ち、課題を把握して問題を解決するための方法を考えたり説明したりすることができるか。

以上のことを、単元ごとのテストやノート、授業での発言内容、話し合い活動の様子などを基に評価します。

<学習方法など>

○学習の成果と日常生活との関連を図り、社会事象や我が国の産業について実感を伴って理解できるようにします。

○テレビや新聞などで流れる社会事象についての情報に関心をもたせ、多角的に物事を捉えたり考えようとする態度を育成します。

○タブレットパソコンや資料集、新聞を活用し、視覚的に学んでいきます。

令和4年度 第5学年（算数）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4月	※学びのとびら 1、整数と小数しくみをまとめよう 2、直方体や立方体の かさの表し方を考えよう	【知識及び技能】 ○整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形的面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
5月	3、変わり方を調べよう(1) ※おぼえているかな？	
6月	4、かけ算の世界を広げよう 5、わり算の世界を広げよう ※小数の倍	【思考力・判断力・表現力等】 ○数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。
7月	※どんな計算になるのかな ※おぼえているかな？	
9月	6、形も大きさも同じ図形を調べよう 7、図形の角を調べよう 8、整数の性質を調べよう	【学びに向かう力・人間性等】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
10月	9、分数と小数、整数の 関係を調べよう ※考える力をのぼそう ※算数で読みとこう ※おぼえているかな？ ※新しい算数プラス 10、分数のたし算、ひき算を 広げよう ※おぼえているかな？	
11月	11、ならした大きさを 考えよう 12、比べ方を考えよう(1) ※おぼえているかな？	【学びに向かう力・人間性等】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
12月	13、面積の求め方を 考えよう ※おぼえているかな？ 14、比べ方を考えよう(2) ※おぼえているかな？	
1月	15、割合をグラフに表して 調べよう 16、変わり方を調べよう(2) 17、多角形と円をくわしく 調べよう 18、立体をくわしく調べよう	【学びに向かう力・人間性等】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
2月	※考える力をのぼそう ※算数で読みとこう ※5年のふくしゅう ※新しい算数プラス	
3月		
＜授業の工夫＞ ○基礎的・基本的な概念及び意味や性質などを生かしながら日常の事象や算数の学習場面から問題を見いだせるようにします。 ○操作活動を取り入れ、多様な考え方をもたせて主体的に問題解決学習に取り組めるようにします。 ○思考の援助として、具体物や数直線等の図や式などを活用し、問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、他者と伝え合うなど対話的に学べるようにします。		
＜評価について＞ ○基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確実に習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、学習したことを生活や学習に活用しているか。 以上のことを單元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、分度器、定規の使い方、復習プリントなどを基に評価します。		
＜学習方法など＞ ○小数のかけ算や小数のわり算の計算練習を計算ドリルや「算数習熟タイム」で継続的に行います。 ○倍数や約数、単位量あたりの大きさなど、理解の定着に時間のかかる分野は継続的に復習します。 ○比例や正多角形など日常の場面でも、算数で学んだことを基に活用します。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。		

令和4年度 第5学年（ 理科 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標	
4	5年生で学ぶこと ふりこの運動	【知識及び技能】 物質・エネルギー ○物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 物質・エネルギー ○物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。 生命・地球 ○生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 物質・エネルギー ○物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う	
5	種子の発芽と成長		
6	魚のたんじょう		
7	台風の接近		
8	実や種のでき方		
9	雲と天気の変化		
10	流れる水のはたらき		
11	川と災害		
12	電流のはたらき		
1	冬から春へ		
2	もののとけ方 科学者の伝記を読もう		
3	人のたんじょう 5年生で学んだこと		
〈授業の工夫〉 ○理科における資質・能力を育むために主体的に課題意識をもち、解決しようとする態度がもてるようにします。 ○単に実験の結果を覚えるだけの活動とならないよう、子供が主体的、協働的、対話的になる学習過程として、①問題の見だし②予想・仮説③課題解決（実験・観察・調査）④結果の整理⑤考察 と道筋に沿って学習を進めます。 ○「違いを見付ける」「既習事項と関係付ける」「問題や予想・仮説と、結果の一致、不一致を判断する」といった学びの『すべ』を獲得していくことができるよう、問題解決の過程を適切に指導します。 ○指導内容に応じて、タブレットや視聴覚機器を活用して指導します。			
〈評価について〉 ○单元ごとの評価テストと合わせて、ノート記述や観察カード、調べ学習のまとめなどをもとに評価します。 ○条件を制御しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決方法を発想し、表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。また、安全面に配慮して取り組んでいるかも評価します。			
〈学習方法など〉 ○学習の成果と日常生活との関連を図り、自然の事物・現象について実感を伴って理解できるようにします。 ○テレビや新聞などで流れる自然や環境についての情報に関心をもたせ、自然環境を大切に、保全に寄与しようとする態度を育成します。そのために、環境などに関する催し物や科学館などについても紹介します。 ○タブレットを活用し、視覚的に学んでいきます。			

令和4年度 第5学年（音楽）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4月	○歌声をひびかせて心をつなげよう すてきな一歩	[知識及び技能] ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
5月	こいのぼり ○いろいろな音色を感じ取ろう オーケストラについて	
6月	祝典序曲 アフリカンシンフォニー	[思考力、判断力、表現力等] ○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
7月	打楽器でリズムアンサンブル ○音の重なりを感じ取ろう 小さな約束 アイネ クライネ ナハト ムジーク プレリュード	
9月	○和音の移り変わりをを感じ取ろう 静かにねむれ こげよ マイケル (Micael row the boat ashore)	[音楽表現の技能] ○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
10月	○曲想の変化を感じ取ろう 夢の世界を キリマンジャロ	
11月	○詩と音楽の関わりを味わおう 山田耕筰の歌曲	
12月	冬げしき スキーの歌 こいのぼり	
1月	○日本の音楽に親しもう 春の海 子もり歌	
2月	ソーラン節／かりぼし切り歌 音階の音で旋律づくり	
3月	○思いを表現に生かそう 威風堂々 卒業式の曲 国歌「君が代」	
〈授業の工夫〉 ○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。また、タブレットPCを活用します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を主体的に伝え合う場を多く設定します。		
〈評価について〉 ○題材の表現や技能だけでなく、主体的に音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら主体的に取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。		
〈学習方法など〉 ○音楽会や音楽朝会など、録音・録画も活用し、可能な範囲で発表の場を設けます。		

令和4年度 第5学年（ 図工 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	みてかく だんだんの絵 たちあがれマイライン まぼろしの花 わたしのいす スモールワールド 心の色と形 イルミネーション ランプシェード 水墨画にならって 糸のこパズル 消してかく	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かっている。手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
年間授業時数		50
〈授業の工夫〉 ○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。 ○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。		
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、感想を書いたり、自己評価を行ったりしていきます。		
〈学習方法など〉 ○夏休みには、ポスターなどご家庭で取り組める内容をお知らせします。		

令和4年度 第5学年（ 家庭 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4・5	◆これまでの学習を家庭科につなげよう	【知識及び技能】 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
6・7	1.家族の生活再発見 (1) 家族の生活を見つめよう (2) 生活を支える家庭の仕事	【思考力・判断力・表現力等】 ○日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
9・10	3.ソーイング はじめの一歩 (1) なぜぬうのだろう (2) どのような用具や方法でぬうのだろう (3) 手ぬいを生活に生かそう	【学びに向かう力・人間性等】 ○家庭生活を大切にできる心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。
	6.ミシンでソーイング (1) なぜミシンでぬうのだろう (2) ミシンの使い方を知ろう (3) ミシンを使って作ってみよう	
	2.クッキング はじめの一歩 (1) なぜ調理をするのだろう (2) ゆでて食べよう (3) 工夫しておいしい料理にしよう	
	4.整理・整とんで快適に (1) なぜ整理・整とんをするのだろう (2) どのような整理・整とんができるだろう (3) 物の使い方を工夫しよう	
	5.できるよ、家庭の仕事 (1) 自分にできる仕事を見つけよう (2) 工夫して仕事をしよう (3) 実行し、続けよう	
11・12月	チャレンジコーナー	
	7.食べて元気に (1) なぜ毎日食事をするのだろう (2) ご飯とみそしるは食事の基本 (3) 日常の食事に生かそう	
1・2	チャレンジコーナー	
	8.生活を支えるお金と物 (1) 何にお金を使っているのだろう (2) 何を大切に買い物をすればよいだろう (3) 買い物の仕方を工夫しよう	
3月	9.暖かく快適に過ごす着方 (1) どのような着方が暖かいだろう (2) 衣服の働きを知ろう (3) 衣服の着方を工夫しよう	
	10.暖かく快適に過ごす住まい方 (1) 寒い日はどのように過ごしているだろう (2) 暖かく快適な住まい方 (3) 快適さアップを工夫しよう	
	11.いっしょにほっとタイム (1) ほっとするのはどのようなときだろう (2) 周囲の人との関わりを考えよう (3) 団らんでつながりを深めよう	
	チャレンジコーナー	
<授業の工夫> ○実践的・体験的な学習活動を取り入れ、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けていきます。 ○学校生活だけでなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫した行動ができるよう、学習内容を広げていきます。 ○調理実習においては、調理器具や調理法についての学習のみとし、実習は家庭で実施したものをノートに記載するようにします。		
<評価について> ○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価します。 ○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価します。 ○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力や人間性等は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価します。		
<学習方法など> ○学習したことを家庭で生かしたり、調理や掃除などを家庭学習で取り組ませたりして、進んで家庭の仕事をする子供の育成をめざしていきます。		

令和4年度 第5学年（ 体育 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	体ほぐしの運動	【知識及び技能】 ○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。
	短距離走・リレー	
5	ベースボール型（ソフトボール、ティーボール等）	
6	走り幅跳び 鉄棒運動	
7	水泳運動	
8		
9	表現	
10	ネット型（キャッチバレー）	
	体の動きを高める運動	
11	マット運動・心の健康	
12	ゴール型（バスケットボール）	
1	体の動きを高める運動	
	けがの防止	
2	跳び箱運動	
3	ゴール型（サッカー）	
〈授業の工夫〉 ○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行います。 ○自分に適した課題をもつと同時に、友達と協力して課題解決に取り組めるような場面を設定し、共に学び合う授業づくりをします。 ○勝敗や競争（走）を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の向上や体力の高まりが感じられるようにします。		
〈評価について〉 ○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○学習カードを用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子も観察し、評価します。		
〈学習方法〉 ○なわ跳び週間、体育朝会を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった練習方法や練習の場を選択することで課題解決に取り組めます。また、動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和4年度 第5学年（ 特別の教科 道徳 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
適宜 4・5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	道徳の時間とは 希望と勇気、努力と強い意志 節度、節制 友情、信頼 規則の尊重 よりよい学校生活、集団生活の充実 相互理解、寛容 公正、公平、社会正義 親切、思いやり 生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念 節度、節制 よりよい学校生活、集団生活の充実 友情、信頼 生命の尊さ 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 感謝 善悪の判断、自律、自由と責任 勤労、公共の精神 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 真理の探究 個性の伸長 家族愛、家庭生活の充実 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 規則の尊重 善悪の判断、自律、自由と責任 親切、思いやり 正直、誠実 生命の尊さ 感謝 希望と勇気、努力と強い意志 よりよく生きる喜び	（「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」） 第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第5学年及び第6学年重点目標】協働・創造 ○相手の考え方や立場を理解して支え合い集団生活の充実に努めること ○法やきまりの意義を理解し、責任ある行動をとること ○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 （1）年間を以下の4つの「学習のまとまり」に分けています。 ・4月から5月の学習のまとまり…自己を見つめる ・6月から9月の学習のまとまり…他者との関わりを見つめる ・10月から12月の学習のまとまり…成長する自己と向き合う ・1月から3月の学習のまとまり…より広く人や社会との関わりについて考える （2）学習指導要領に示された内容項目（第5・6学年）は、それぞれの学年において網羅されています。
〈授業の工夫〉 ・道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。 ・道徳ファイルの活用を通して学習の連続性を重視し、振り返りや自己評価、道徳的価値の理解を深める一助とします。ティームティーチング・ゲストティーチャーを有効に活用し授業の活性化に努めます。		
〈評価について〉 道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ワークシートへの記述をもとに肯定的評価をします。		
〈学習方法など〉教科書とワークシートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する ②登場人物の思いを共通理解する ③授業の中心で考えさせたいこと（場面）について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。 ④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。		

令和4年度 第5学年（ 総合 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	○お米マイスター(通年)	【知識及び技能】 ○自分の生活や身近な地域にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
5	○西巣幼稚園と交流しよう	
6・7	○山中湖の自然について調べよう	
9	○たけのこ学級と交流しよう	
10・11	○西巣幼稚園と交流しよう	【思考力・判断力・表現力等】 ○自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
12	○パソコンと仲良くなろう	
1・2・3	○農業・工業から考えるSDGs ○西巣幼稚園と交流しよう ○最上級生になる準備をしよう	【学びに向かう力・人間性等】 ○自分の生活や身近な地域についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
<授業の工夫> ○自分の学習を振り返ったり、深めたり、広げたりすることができるように、グループ学習の場を設定します。 ○ICTを活用して調べ学習を行います。 ○ゲストティーチャーを招いて、学習を行います。		
<評価について> ○テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・パンフレット・カードなどの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○あゆみには、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
<学習方法など> ○以下の探求的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。 （自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		

令和4年度 第5学年（ 外国語活動 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	Unit1 Hello, friends. 名前や好きなもの・ことを伝える Unit2 When is your birthday? 誕生日やほしいものを伝える Unit3 What do you want to study? 学びたい教科ややりたい職業を伝える Check Your Steps 1 外国の人に自己紹介をする Unit4 He can bake bread well. 地域の身近な人を紹介する Unit5 Where is the post office? 場所をたずねたり、答えたりする Unit6 What would you like? ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりする Check Your Steps 2 あなたの地域のおすすめを外国の人に紹介する Unit7 Welcome to Japan. 日本の四季や文化について紹介することができる。 Unit8 Who is your hero? あこがれの人について発表する Check Your Steps 3 「日本のすてき」を英語の先生に紹介する	【知識及び技能】 ○外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

〈授業の工夫〉

- 音声でのコミュニケーションに使う英語表現に慣れ親しむことで目的や場面、状況に応じた英語表現を活用できる児童をめざします。
- 担任と英語指導アシスタントが協力し、主にコミュニケーション能力の育成をめざします。

〈評価について〉

- あゆみには、活動の様子やテスト、振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、正しいアルファベットを使って書くことができるかなどを評価します。

〈学習方法など〉

- 外国語活動では、積極的に発話することや読むこと、書くことで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を生活の中で活用する機会を多く設けます。